

# 特集 1

## 広がる交流の輪 —国際交流編—



先月号では、国内交流を紹介しましたが、今月号では国際交流を紹介します。

松浦市では、オーストラリア・マツカイ市とモンゴル・ホジルト市との国際交流を、旧市町るときから行ってきた。



# モンゴル ホジルト市

ホジルト市ってどんなまち？

## 広大な草原など豪快な大自然

ホジルト市は、首都ウランバートルから西に約450キロのところにあります。温泉療養地としても知られ、オルホン河の滝や遺跡群も多く見られます。

広大な草原と、夜空を見上げると今にも降ってきそうなたくさんの星。その豪快な大自然との触れ合いを求めて、日本からの観光客も多く訪れています。



## 交流のきっかけ

### 元寇の悲惨な歴史…

### 平和・友好を願う交流がスタート

鷹島は、700有余年前、元軍せん滅の地として歴史に残る史跡地で、鷹島周辺海域では、元軍の遺物が数多く引き揚げられています。

この元寇の悲惨な歴史は過去として今後は両国が親善交流を図ることで、平和と友好を維持し発展させるために、旧鷹島町とホジルト市は、平成3年7月に「姉妹縁組み締結調印」を交わしました。



▲平成3年の「姉妹縁組み締結調印」のときの様子

## これまでの交流

### 交流の象徴「モンゴル村」

旧鷹島町とホジルト市は、モンゴル交流団を昭和63年から7回派遣するなど、姉妹縁組み締結以前から交流を重ねてきました。

そして、日本で初めてゲル（モンゴル高原で見られる移動式住居）や民芸品などの輸入を行い、平成5年5月にモンゴル村が開村。モンゴル村で毎年開催しているモンゴルまつりには、大相撲大島部屋のモンゴル出身力士を招くなど、年々交流が深まっています。

